

報道関係者各位

2023 年 3 月 16 日(木)

エコルとごしと戸越公園で、環境を身近に楽しく学ぼう！
品川区立環境学習交流施設エコルとごし、開館１周年記念イベント

2023年4月30日(日)開催
『エコルフエス -2023 SPRING-』

～スペシャルトークイベントには、作家・クリエイターのいとうせいこう氏が登場！～



品川区立環境学習交流施設エコルとごし(東京都品川区豊町、館長:中藏 康之)は、2023 年 4 月 30 日(日)に、開館 1 周年記念イベント「エコルフェス -2023 SPRING-」を開催いたします。

エコルとごしは 2022 年 5 月 1 日に開館し、その約半年後の 10 月 25 日には来館者 10 万人、現在では来館者 20 万人以上をお迎えするなど、品川区の新たな施設として、区内外から多くの方にご利用いただいています。開館 1 周年を記念した「エコルフェス -2023 SPRING-」では、「エコルとごしエリア」「自然体験エリア」「環境学習交流エリア」「飲食エリア」の 4 つのエリアを用意し、区内の大学・団体や品川区交流自治体をはじめとするさまざまな団体を講師に招き、環境を身近に楽しく学ぶ講座・ワークショップを多数開催いたします。

さらに、スペシャルトークイベントには、作家・クリエイターなどとして幅広く活動するいとうせいこう氏をお招きし、3月上旬に発売された書籍『今すぐ知りたい日本の電力 明日はこっちだ』で対談された、市民エネルギーちば株式会社代表取締役の東 光弘氏とともに、自立分散型の新たな未来をつくる「ソーラーシェアリング(農営型太陽光発電システム)」の取り組みについてお話しいたします(要事前申込)。

飲食エリアには、現在も戸越公園に月2回程度出店している農家支援のキッチンカー「eat for」をはじめ、数台のキッチンカーが登場予定です。また、10月に開催して好評を得た「エコルパンマルシェ」の第2回目として、品川区商店街連合会共催のもと、「品川区もったいない推進店」に登録されている地元商店街のお店の美味しいパンを紹介するコーナーもあります。

イベントや出店者など、詳細は決まり次第、エコルとごし HP でお知らせいたします。

開催概要

エコルとごし開館1周年記念イベント 「エコルフェス -2023 SPRING-」



【日時】2023年4月30日(日) 10:00～15:30

【会場】品川区立環境学習交流施設エコルとごし・戸越公園（東京都品川区豊町2-1-30）

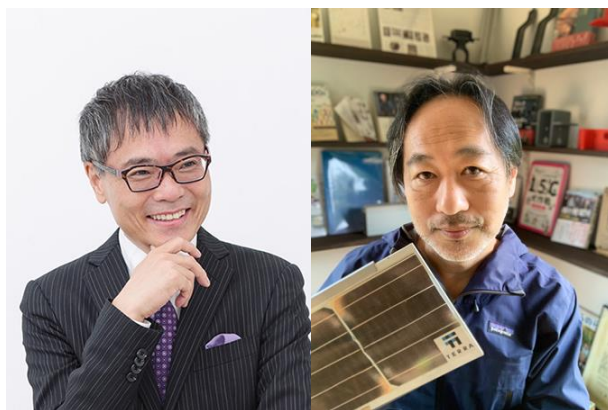
※入場無料。ただし一部ワークショップ等は有料の場合があります。

※少雨決行。荒天の場合、戸越公園内のイベントは中止いたします。

Pick up!

ひがし とうせいこう × 東 光弘スペシャルトークイベント

「今すぐ知りたい日本の電力 明日はこっちだ ～ソーラーシェアリングのひみつ～」



作家・クリエイターなどとして幅広く活動する中、福島県に太陽光発電所「いとうせいこう発電所」をもち、新たな電気料金プラン「アーティスト電力」なる企画を始動するなど、再生可能エネルギーの普及を目指すいとうさん。

3月上旬に発売された書籍『今すぐ知りたい日本の電力 明日はこっちだ』で対談された、市民エネルギーちば株式会社代表取締役の東 光弘さんとともに、自立分散型の新たな未来をつくる「ソーラーシェアリング（農営型太陽光発電システム）」の取組みについてお話しいたします。当日は書籍の販売・サイン会も実施します。

【日時】2023年4月30日(日) 13:00～14:30

【会場】品川区立環境学習交流施設エコルとごし 3F 多目的スペース

【参加費】無料

【対象・定員】どなたでも・80名 ※抽選になった場合、品川区内在住・在勤・在学の方を優先します。

【申込方法】3月21日(火祝)～4月11日(火)必着にて、エコルとごし HP または往復はがきで要申込
トークイベントの詳細・申込はこちら >> <https://ecoru-togoshi.jp/event/workshop/8583/>

<登壇者プロフィール>

◆ いとうせいこう

1961 年生まれ、東京都出身。1988 年に小説「ノーライフキング」でデビュー。

1999 年、「ボタニカル・ライフ」で第 15 回講談社エッセイ賞受賞、「想像ラジオ」で第 35 回野間文芸新人賞受賞。近著に「鼻に挟み撃ち」「『国境なき医師団』を見に行く』『小説禁止令に賛同する』『今夜、笑いの数を数えましょう』『ど忘れ書道』『ガザ、西岸地区、アンマン』『福島モノログ』『われらの牧野富太郎！』『今すぐ知りたい日本の電力』などがある。

◆ 東 光弘（ひがし みつひろ）／ 市民エネルギーちば株式会社 代表取締役

1965 年東京生まれ。20 年ほど有機農産物・エコ雑貨の流通を通じて環境問題の普及に取組み、2011 年より地域再生型の再エネ活動に専念。ソーラーシェアリング特化した自社発電所事業（約 3MW）および、EPC 事業、専用部品開発、講演活動、各種環境プロデュース等を務める。2021 年 5 月、海外事業や異業種との協業のため新会社『(株)TERRA』設立。農地取得適格法人 2 社の役員を務めながらオーガニックな 6 次化と農泊事業なども手掛ける。

<テーマとなる書籍について>

『今すぐ知りたい日本の電力 明日はこっちだ』

発売日：2023 年 3 月 13 日 出版社：東京キララ社 編著：いとうせいこう



なぜ電気代が上がった？エネルギー問題のこの先は？

取り組みを続ける先人たちといとうせいこうが緊急問答！

（以下、まえがきより抜粋）

さてこのインタビュー集は、このところ突然旗色が悪くなったかのように見える「再生可能エネルギー」に実際に関わっている方々への真摯な質疑応答でできている。

（中略）

エネルギー不足はなぜ起きているのか。

再生可能エネルギーは本当に明日への道を照らすものではないのか。

ここで行く方向をあやまると、ほんの十数年後、私たちはどん詰まりの前で立ちすくむのではないのか。

そういう危機感からこの本はできている。

読み終えて、さて皆さんはどの道を選ぼうと考えるだろうか。

<市民エネルギーちば株式会社が手掛ける「ソーラーシェアリング（農営型太陽光発電システム）」>



◆ 昨年開催したオープニングイベントの様子 ◆ ※3,800人ほどの方にご来場いただきました！



品川区立環境学習交流施設エコルとごし 施設概要



品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」は、自然豊かな戸越公園の中にあります。床・壁といった空間全体を使った迫力ある映像展示や、「時間」をテーマに身近な視点で環境を考える常設展示「トイカケのジカン」など、体験型展示・イベントで環境を楽しみながら学べる施設です。早朝から夜間まで利用できる開放的なラウンジをはじめ、キッズスペースや貸室など、地域における憩いと交流の場として広く多世代に利用されています。なお、エコルとごしの建物は都内公共建築物で初めて「Nearly ZEB(ニアリーゼブ)＊」認証を取得した、環境にやさしい施設です。

＊「ZEB(ゼブ)」とは、「Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」の略称です。快適な室内環境を保ちながら、省エネにより使うエネルギーを減らし、太陽光発電などでエネルギーを創り出すこと(創エネ)で、建物で使うエネルギー収支をゼロにすることをめざした建築物です。

■開館時間 7:00～21:30(展示・キッズスペース等は9:00～18:00)

■休館日 毎月第4月曜日(祝日の場合は開館し、翌平日休)、
年末年始(12/29～1/3)

■アクセス

東急大井町線 戸越公園駅・下神明駅より徒歩7分

都営浅草線 戸越駅より徒歩12分

東急池上線 戸越銀座駅より徒歩15分

■ホームページ <https://ecoru-togoshi.jp/>



【お問い合わせ】 品川区立環境学習交流施設エコルとごし 広報担当:坂下

TEL:03-6451-3411(休館日を除く9:00～20:00)FAX: 03-6451-3412

MAIL: pr@ecoru-togoshi.jp (指定管理者:アクティオ株式会社)

